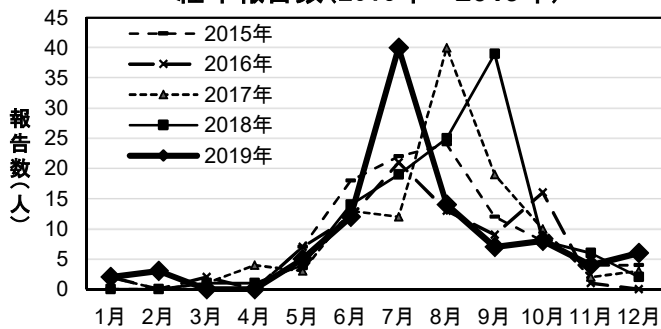


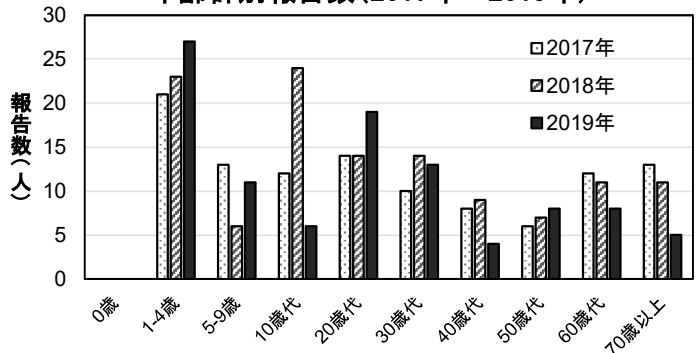
腸管出血性大腸菌感染症

- ◆夏期に腸管出血性大腸菌、カンピロバクター、サルモネラ等を原因とした細菌性食中毒が増加します。
- ◆テイクアウトや宅配では、調理後、食べるまでの時間が長くなり、食中毒菌が増えるリスクが高くなります。これから気温の高くなる季節は特に注意してください。

経年報告数(2015年～2019年)



年齢群別報告数(2017年～2019年)



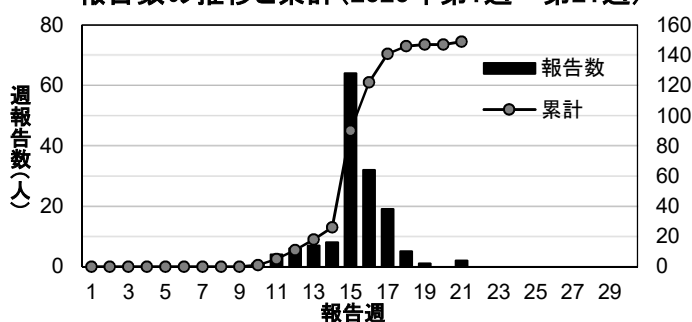
—腸管出血性大腸菌感染症の届出をお願いします—

- ◆ 腸管出血性大腸菌感染症と診断した場合は、速やかに最寄りの保健所に届出してください。保健所が行う患者調査・菌株の収集などにご協力をお願いします。
- ◆ 腹痛、下痢、血便等の症状があるなど腸管出血性大腸菌感染症を疑う患者に対しては、便培養検査の実施をお願いします。便培養検査は、抗菌薬投与の前をお願いします。
- ◆ 抗血清で同定できない血清型でベロ毒素が検出される株もあります。
- ◆ 大腸菌でベロ毒素検査陽性であれば、血清型によらず届出対象になります。
- ◆ 腸管出血性大腸菌による溶血性尿毒症症候群(HUS)に注意をお願いします。

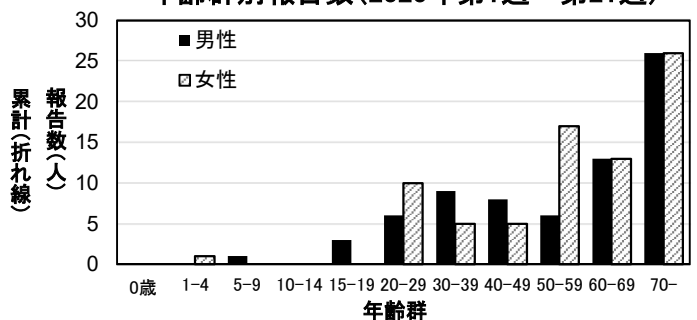
新型コロナウイルス感染症

- ◆これまでに県内で報告された新型コロナウイルス感染症患者は、男性72名、女性77名、計149名です。男女ともに70歳以上の割合が最も多く、報告数全体の35%を占めていました。

報告数の推移と累計(2020年第1週～第21週)



年齢群別報告数(2020年第1週～第21週)



【新型コロナウイルス感染症患者発生状況】

県内患者発生数：149名 県内死亡者数：19名

空港検疫陽性者：1名

(5月31日 15:00現在)

国内患者発生数(感染者：厚労省発表)：16,851名

(5月31日 0:00現在)